

新たな学びの推進にむけて

クラウド等の最先端技術による、学校間、学校と家庭をシームレスにつないだ先導的な教育体制を構築するための実証研究を実施

研究項目

- 地域における教育体制の構築
 - 異なる学校間、学校種間の情報共有
 - 学校と家庭との連携
- 新たな学びに対応した指導方法の充実および指導力の育成
 - 学校種や各教科等に応じた指導方法の開発
 - 教員の研修体制の構築
- デジタル教材の利便性の向上
 - 地域内の学校が相互に活用できる教材の蓄積・提供

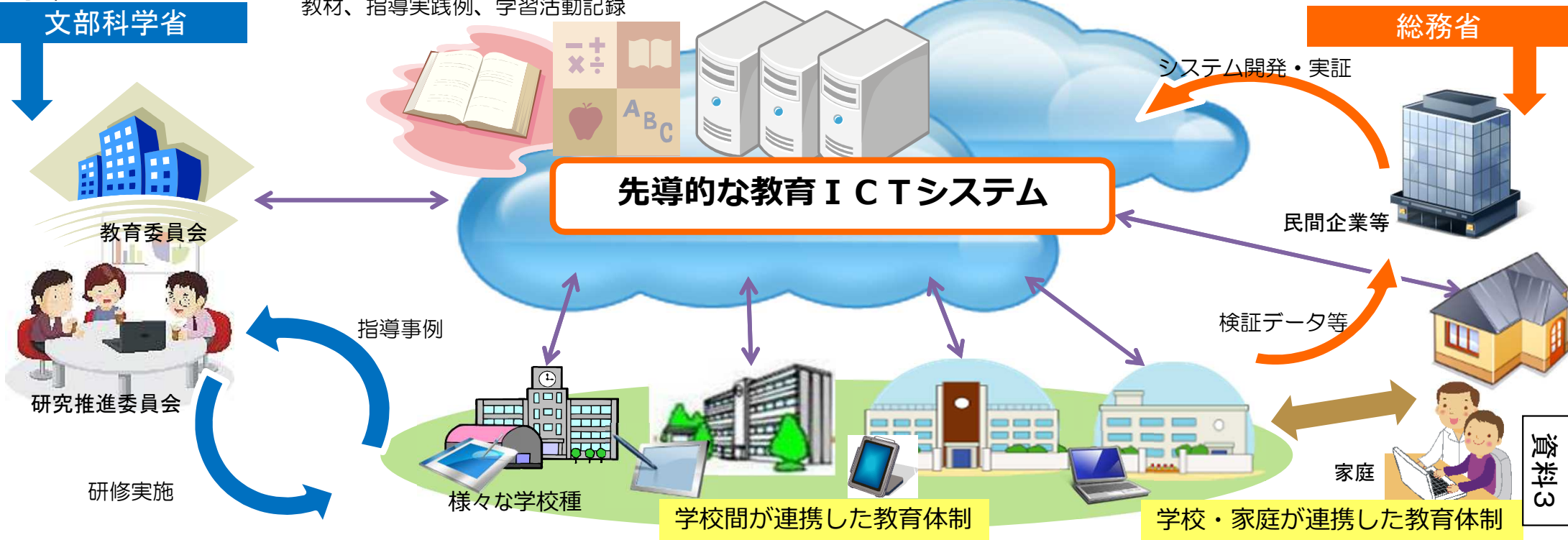
等

実証地域と実証校

- | | | |
|---------|------------|--------------|
| ○福島県新地町 | ○東京都荒川区 | ○佐賀県（武雄市と連携） |
| ➢福田小学校 | ➢第3 峡田小学校 | ➢武雄市立北方小学校 |
| ➢新地小学校 | ➢尾久小学校 | ➢武雄市立北方中学校 |
| ➢駒ヶ嶺小学校 | ➢第2 日暮里小学校 | ➢有田工業高等学校 |
| ➢尚英中学校 | ➢諏訪台中学校 | ➢中原特別支援学校 |

総務省との連携の下、各地域において、学校間、学校・家庭が連携した新しい学びを推進するための指導方法の開発、教材や指導実践例等の共有など、先導的な教育体制の構築に資する研究に取り組む。【全国3地域（1地域4校程度）】

＜事業イメージ＞



先導的な教育体制構築事業・委託先事業概要(1/2)

申請団体名称	実証校 (対象学年)	実証対象となる学年及び児童生徒数							計	特色ある取組
		1年	2年	3年	4年	5年	6年			
1 福島県新地町 教育委員会	① 福田小学校 (4, 5, 6)	-	-	-	16	15	13	44	震災を乗り越えるICT活用の 先導的学習支援	<ul style="list-style-type: none"> ・OSに依存しないクラウドを活用した学習コンテンツによる家庭学習(反転授業の内容を含む)の充実と学力向上 ・クラウドを活用したデジタル教材(オープン教材)の共有化とICT授業実践 ・新地町作成の学習用教材(小学生用問題集「ちから」、美文朗読等)をデジタルコンテンツ化して活用 ・ICTを活用しての多面的な心のケアと支援(テレビ会議システム、SNS・・・) ・クラウドを活用したLMSによる児童生徒の学習履歴管理と校務支援 ・ICTを活用しての非常変災時の早期対応と授業実践 ・クラウドを活用した子どもたちによるARコンテンツ作成(総合的な学習の時間)と新地町との連携
	② 新地小学校 (4, 5, 6)	-	-	-	42	40	35	117		
	③ 駒ヶ嶺小学校 (4, 5, 6)	-	-	-	26	24	27	77		
	④ 尚英中学校 (1, 2)	88	87	-	/	/	/	252		
2 東京都荒川区 教育委員会	① 諏訪台中学校 (1, 2, 3)	132	153	137	/	/	/	422	実証フェーズではなく導入実践 フェーズでの取組 -実証校の取組を34校での実 践につなげる-	<p>Core Project</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 クラウドを活用した学習履歴等のビックデータによる児童生徒の学習状況の個人カルテを作成する。個人カルテで明らかになった個々の学習課題をドリル型コンテンツや復習型ビデオクリップの導入により支援する。(クラウドを利用した「校務」と「ICT授業活用」をつなぐLCMSを構築) 2 ビックデータ解析による教員の指導改善 3 クリエイティブ・コンピューティング
	② 第3峡田小学校 (1~6)	27	24	23	21	25	17	137		
	③ 尾久小学校 (1~6)	62	63	60	61	74	60	380		
	④ 第2日暮里小学 校 (1~6)	30	24	10	20	15	17	116		
3 佐賀県 教育委員会 (武雄市教育委員 会)	① 武雄市北方小学 校(4, 5, 6)	-	-	-	61	78	60	199	小学校・中学校・高等学校・特 別支援学校のシームレスな連 携に向けた検証	<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀県独自の教育情報システム(SEI-Net)やテレビ会議システムを活用し、学習支援の充実を図る。 ・特別な支援を必要とする児童生徒の、将来の就労、自立を見据えた学習機会を提供(進路保障)するため、遠隔授業等を活用したプログラミング学習を実施する。
	② 武雄市北方中 学校(1, 2)	80	58	-	/	/	/	138		
	③ 有田工業高等 学校(1, 2)	198	194	-	/	/	/	392		
	④ 中原特別支援 学校(1, 2)	14	21	-	/	/	/	35		

先導的な教育体制構築事業・委託先事業概要(2/2)

申請団体名称	これまでのICT教育及び教育の情報化に関する主な取組	現在のICT機器整備状況	
1 福島県新地町教育委員会	<p>○平成22年～24年 総務省「地域雇用創造ICT絆プロジェクト」新地町立福田小学校, 新地小学校, 駒ヶ嶺小学校 ○平成23年～25年 文部科学省「学びのイノベーション事業」、総務省「フューチャースクール推進事業」新地町立尚英中学校 ○平成26年 文部科学省「ICTを活用した教育の推進に資する実証事業」尚英中学校、新地小学校</p> <p>平成23年度～26年度 新地町ICT活用協議会の開催(年4回～5回) ・新地町並びに各学校ICT活用グランドデザイン構築 ・情報教育講演会開催等企画(以下は平成25年度の例示) 「教員が身に付けるソーシャルメディア・リテラシー」 コメンテーター 東北学院大学 教養学部 人間科学科 稲垣 忠 准教授 日本科学技術振興財団・科学技術館経営企画室 田代 英俊 グループリーダー ・情報教育に関するパネルディスカッション(いずれの年度においても目白大学社会学部メディア表現学科 原 克彦教授によるコーディネート)</p>	① 福田小学校	パソコン: CM1、iPad1 電子黒板: 日立 ボード型77インチ
		② 新地小学校	パソコン: CM1、iPad1、iPad2 電子黒板: 日立 ボード型77インチ
		③ 駒ヶ嶺小学校	パソコン: CM1、iPad1 電子黒板: 日立 ボード型77インチ
		④ 尚英中学校	パソコン: 富士通STYLISTIC Q550/G 電子黒板: エプソン社アタッチメント55インチ
2 東京都荒川区教育委員会	<p>①「あらかわ教育ネットワーク」の構築および教員1人1台の校務用PCの導入 平成13年度からスタートし、平成21年度までにすべての小中学校に教育ネットワークおよび教員1人1台の校務用PCを導入。 ② 電子黒板の導入 「スクール・ニューディール」構想を実現するための国庫補助を活用して平成21年度に補正予算を編成し、平成22年度区内の全普通教室に50インチプラズマテレビ型の電子黒板を369台導入し、授業でのICT活用の基盤を整備。平成23年度には指導事例集「電子黒板の活用推進資料集」(平成24年3月荒川区教育委員会)を発刊し啓発を図る。 ③ デジタル教科書のネットワーク配信 授業で使う教材やコンテンツを全校に配信することができるサーバを利用して平成24年9月より、荒川区で採択されている教科書の国語・算数・数学・生活・理科・社会についてのデジタル教科書のネットワーク配信を開始。自治体単位でのネットワーク配信は全国初の取組である。 ④ タブレットPC導入モデル事業の開始 平成25年度に諏訪台中学校、第三峡田小学校、尾久小学校、第二日暮里小学校の4校(中学校1校、小学校3校)でスタートさせた。モデル校4校でフューチャースクール型の児童生徒1人1台の体制を構築し、約1200台のタブレットPCを導入した。 ⑤ タブレットPCの全校導入 平成26年度よりタブレットPCの全校導入を決定し、9月より運用を開始。中学校は全ての生徒に1人1台の導入、小学校については、1～2学年が児童4人に1台、3～6学年が児童2人に1台でシェアする割合で約8300台のタブレットPCを導入を開始。</p>	① 諏訪台中学校	パソコン: 富士通製STYLISTIC Q702/G 電子黒板: パイオニア社、プラズマ型、50インチ
		② 第三峡田小学校	パソコン: 富士通製STYLISTIC Q702/G 電子黒板: パイオニア社、プラズマ型、50インチ
		③ 尾久小学校	パソコン: 富士通製STYLISTIC Q702/G 電子黒板: パイオニア社、プラズマ型、50インチ
		④ 第二日暮里小学校	パソコン: 富士通製STYLISTIC Q702/G 電子黒板: パイオニア社、プラズマ型、50インチ
3 佐賀県教育委員会 (武雄市教育委員会)	<p>○H23総務省「絆プロジェクト」(佐賀市立赤松小学校・佐賀市立若楠小学校、武雄市立山内東小学校・武雄市立武内小学校) ○H22～24総務省「フューチャースクール推進事業」・H23～25文部科学省「学びのイノベーション事業」(佐賀市立西与賀小学校) ○H23～25総務省「フューチャースクール推進事業」・文部科学省「学びのイノベーション事業」(佐賀県立武雄青陵中学校)</p> <p>「先進的ICT利活用教育推進事業において、県政の最重要施策として、「佐賀県総合計画2011」の“進”重点項目に位置付け、教育庁内に事業推進のための専任組織(教育情報化推進室)を立ち上げるとともに、4年間の工程表を示し ・電子黒板や情報端末等のICT機器の整備 ・校務管理と学習管理及び教材管理を一括処理する県独自の教育情報システムの構築 ・デジタル教材の導入と開発 ・教職員のスキルアップ(教職員研修の実施、教員採用試験の改善) などを市町村と一緒に一体的に取り組む。</p> <p>「ICT環境整備」では、平成24年度に県立中学校と特別支援学校(小・中学部)に1人1台の学習用パソコンを導入。県立学校及び特別支援学校(高等部)においては、平成26年度から導入を開始。</p>	① 武雄市北方小学校	パソコン: KEIAN M716-PS 電子黒板: サカワ社、ボード型、50インチ、77インチ
		② 武雄市北方中学校	パソコン: KEIAN M716-PS 電子黒板: サカワ社、ボード型、77インチ
		③ 有田工業高等学校	パソコン: iPad(iOS) 50台、Arrows Tab Q584/H 電子黒板: B&S MEDIA社、液晶型、70インチ
		④ 中原特別支援学校	パソコン: Latitude10、STYLISTIC、iPadArrows Tab Q584/H等 電子黒板: B&S MEDIA社、ボード型、55インチ